

山口県感染症発生週報 (第16週: 2023年4月17日～4月23日)

1 全数把握感染症

- 【4類感染症】
 - ・SFTS(重症熱性血小板減少症候群): 1例(柳井)
- 【5類感染症】
 - ・梅毒: 1例(防府)
- 【新型インフルエンザ等感染症】
 - ・新型コロナウイルス感染症: 588例(下関109、岩国49、柳井35、周南108、防府34、山口49、宇部95、長門15、萩7、フォローアップセンター87)



タカサゴキララマダニ
(SFTSウイルス等を媒介する)

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ: 県全体の報告数が増加しました。迅速検査診断結果でA型陽性が55例、B型陽性が1例、A型B型共に陽性が1例、臨床診断・型不明が108例ありました。
- ・RSウイルス感染症: 県全体で発生が多い状況です。下関、宇部で発生が多い状況です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	14週	15週	16週	疾患名	14週	15週	16週
インフルエンザ	143	139	165	ヘルパンギーナ	6	9	15
RSウイルス感染症	45	54	75	流行性耳下腺炎	0	1	3
咽頭結膜熱	7	2	8	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	24	36	流行性角結膜炎	2	1	0
感染性胃腸炎	126	172	169	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	4	3	7	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	1	3	0	マイコプラズマ肺炎	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	1	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	23	27	15	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	20	41	3	35	35	12	12	7	0	165
RSウイルス感染症	60	3	1	5	0	0	6	0	0	75
咽頭結膜熱	3	4	0	1	0	0	0	0	0	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	7	1	21	0	3	0	0	0	36
感染性胃腸炎	16	6	18	54	9	18	32	4	12	169
水痘	1	3	0	0	0	0	3	0	0	7
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
突発性発しん	1	0	0	4	1	3	4	0	2	15
ヘルパンギーナ	7	0	0	0	0	2	6	0	0	15
流行性耳下腺炎	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症については、4月24日に32人、4月25日に74人の新規感染が公表されています。(県新型コロナウイルス感染症対策本部公表)【累計316,095例】

4 病原体検出等情報

- ・インフルエンザウイルスA/H3型(A/香港型)(検体採取週 第16週): 咽頭ぬぐい液から
- ・アデノウイルス2(検体採取週 第13週): ふん便から(診断名: 感染性胃腸炎)
- ・ノロウイルスGⅡ.2(検体採取週 第13週): ふん便から
- ・SFTSウイルス(検体採取週 第16週): 血液から(診断名: SFTS疑い)
- ・デングウイルス1型(検体採取週 第16週): 血液から(診断名: デング熱)
- ・ヒトヘルペスウイルス6(検体採取週 第15週): 咽頭ぬぐい液、血液から(症状: 発熱・発疹、麻しん疑い)
- ・ライノウイルスA(検体採取週 第14週): 咽頭ぬぐい液から